

平成19年度概算要求における 観光・集客サービス産業関連施策の概要

平成18年9月
経済産業省

1. 問題意識

経済産業省では、多様化・高度化する顧客ニーズに応じて、関連する事業者が業種横断・地域横断に連携し、付加価値の高いサービス提供、新たな滞在価値の創出等、地域独自の魅力作りを行う産業群を「観光・集客サービス産業」と位置づけ（「新経済成長戦略」）。

国土交通省をはじめとする関係府省庁と連携して、競争力ある地域発の観光・集客サービス産業創出に向け、当省の政策資源を積極的に投入。

2. 当省の政策展開

① 地域ぐるみ魅力向上プロジェクト支援事業（仮称）

平成19年度予算要求額：6.0億円（新規）

国際競争力ある観光・集客サービス産業を構築するため、広域的に幅広い関係者の参画を得て、差別化を可能とする独自の戦略を構築し、地域・業種横断的な総合的取組を推進する。

具体的には、特色ある地域の産業や工場、商店街、異業種等の観光以外の分野の中小の事業者の連携など、観光・集客サービス分野において個別の事業者では対応が困難な立ち上がり期における共通基盤づくりを支援（1／2補助、最大3年間）する。

②サービス産業生産性向上支援調査事業

平成19年度予算要求額：23億円の内数（新規）

サービス産業生産性向上を促進するため、観光・集客サービス分野において、以下の事業を行う。

（1）観光・集客サービス産業創出支援事業

観光・集客サービス関係者が業種横断的、地域横断的に連携し、ニーズの変化に対応した複合的・融合的な新サービスを提供する先導的な取組を支援する。

（2）集客交流拡大要因分析調査事業

観光・集客事業における客観的実績に結びつく要因を明らかにし、今後の実績向上を目指した取り組みに対して、優先・重視すべき取り組み事項を示唆できるようにする。

（3）集客交流経営人材育成事業

観光・集客サービスの活性化、高度化を図るため、事業経営人材、地域経営人材の2人材について、テキストや教育プログラムの開発を行う。

地域ぐるみ魅力向上プロジェクト支援事業(仮称)の概要

事業概要

19年度予算要求額 : 6.0億円 (新規)

○地域の特色ある地域の産業や工場、商店街、異業種等の連携を促進し、地域ぐるみの魅力向上に向けたプロジェクトを支援する。

事業スキーム

目的

- ◆観光・集客サービスの競争力向上
- ◆中小企業の観光・集客サービス化による高付加価値化
- ◆地域経済の活性化

支援対象事業計画

- －事業目標(5年後)
- －幅広い関係者によるネットワークの形成
- －差別化を図るための独自の戦略の構築
(リピーター率の向上、滞在時間の拡大等集客増のメカニズムの設定)
- －人材育成、IT等を活用した情報提供 等

具体的な支援措置(立ち上がり期の共通基盤づくり(1/2補助、最長3年間))

- －観光・集客プログラムの企画開発及び実施(初期経費)
- －人材育成、情報処理システムの構築 等